

## 就任のあいさつ

看護部長 千田 昌代



4月から看護部長に就任いたしました。

超高齢社会を迎え、医療を取り巻く環境が変化しています。それに伴い、患者さんの療養の場は「医療機関」から「暮らしの場」へ移行しています。

看護部は、入院する前から患者さんご家族に関わり、退院したあとは、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう、看護職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと考えています。

その取り組みとして、昨年度に訪問看護ステーション、今年度は入退院支援室を開設しました。

私たち看護部は、済生会富山病院の理念に基づき、「心温まるすぐれた」看護を提供することを念頭におき、医師をはじめ、医療従事者と協力しながら、専門職として患者さんの療養をサポートできるよう努めていきます。そして、患者さんにとって、近くて頼りになる存在となれるよう、看護師一人ひとりが日々研鑽を重ねてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 看護職員のユニフォームが変わりました！

主任看護師 稲垣かおり

平成30年4月から、当院看護師のユニフォームが変更となりました。男性看護師は紺地にブルーのライン、女性看護師は紺地にピンクのラインが入ったものを着用します。

過去をさかのぼると、看護師のシンボルとされていたナースキャップが廃止され、白衣だけとなった姿に、なんだか寂しい気持ちになりました。さらに時代は変わり、白衣から、より活動的に動けるユニフォームが好まれるようになりました。今回変更したユニフォームも、看護師全員の意見をもとに選定しました。

これまでとは随分雰囲気が変わりますが、私たちはこれからも済生会富山病院の看護師として、看護部の理念でもある、患者さん中心の専門職看護を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

